

練馬区夜間救急こどもクリニックのご案内

場 所

練馬区役所東庁舎2階
練馬区豊玉北6-12-1

予約用 ☎050-5810-4682

問合せ用 ☎03-3994-2238

診療日・受付時間

月曜～金曜（祝休日・年末年始を除く）

午後8時～午後10時30分

日曜・祝休日・土曜・年末年始

午後6時～午後9時30分

※昼間の診療については下記の休日急患診療所案内参照

診療科目

小児科

（必ず小児科医師が診療します）

対 象

15歳以下のこども

●入院が必要な場合は、連携病院に受入れを依頼します。

●受診の際は、保険証（乳）・（子）医療証などをお持ちください。



急病のときのその他の診療所

練馬休日急患診療所

内科・小児科

練馬区豊玉北6-12-1 練馬区役所東庁舎2階

予約用 ☎050-5810-4682

問合せ用 ☎03-3994-2238

受付時間 共通	日曜・祝休日・年末年始	午前10時～午前11時30分 午後1時～午後4時30分 午後6時～午後9時30分
	土 曜	午後6時～午後9時30分

相談窓口 （東京都）	東京都医療機関案内サービス「ひまわり」	☎5272-0303（24時間対応）
	東京消防庁救急相談センター #7119	☎3212-2323（24時間対応）
	東京都「子供の健康相談室」（小児救急相談）	☎5285-8898 （平日：午後6時～翌朝8時） （土・日・祝：午前8時～翌朝8時）

かかりつけ医の 案内など	練馬区医師会 医療連携・在宅医療サポートセンター ☎3997-0121（平日：午前9時～午後5時、土：午前9時～正午）
-----------------	--

石神井休日急患診療所

内科・小児科

練馬区石神井町3-30-26 石神井庁舎地下1階

予約用 ☎050-5526-1262

問合せ用 ☎03-3996-3404

こどもクリニック通信

“インフルエンザ” ってどんな病気？



お子さんの様がおかしい時は早めにかかりつけの小児科へ、
また夜間の救急の場合には、「練馬区夜間救急こどもクリニック」へ
（ご案内は裏）

練馬区・練馬区医師会

インフルエンザと 普通の風邪はどう違うの？

インフルエンザは主に冬季に流行しますが、それ以外のシーズンの流行もあります。2つのA型(H1N1とH3N2)とB型のウイルスが原因となります。

普通の風邪は、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳などが中心ですが、インフルエンザの場合には39℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、合わせて普通の風邪と同様の症状も見られます。小児では中耳炎、熱性けいれんなどを併発することが多く、時には脳症を発生し重症化する事もインフルエンザの特徴です。



インフルエンザの症状など

●症状

急激な発熱とだるさで発病することが多いです。熱は3～5日続きます。さらに、咳や鼻水、頭痛、のどや筋肉・関節の痛みなども起こります。下痢や嘔吐など、腹部の症状を起こす場合もあります。

●予防

- ①流行する前の予防接種をおすすめします。
- ②外から帰ったら「手洗い・うがい」をする習慣をつけましょう。
- ③外出時はマスクを着用しましょう。
- ④室内の乾燥を防ぎ、部屋の換気をしましょう。

●診断

鼻咽頭ぬぐい液を用いた迅速診断キットを使用します。(発症翌日が最も検出しやすいです。)

●治療

抗ウイルス薬の服用を発症48時間以内に開始すると、症状の軽減が期待できます。



インフルエンザにかからない ためには！

予防接種を受けていれば、インフルエンザに「かかっても軽くすむ」ことが期待できます。

特に重症になる率は非常に少なくなります。

現時点では、皮下注射の不活化ワクチンが一般的です。

●接種の方法

生後6か月以上13歳未満は2回接種です。10月ごろに1回目を接種し、およそ2～4週間(できれば4週間)あけて2回目を接種します。13歳以上は通常1回接種です。

●受けるときの注意

卵アレルギーのある方も接種を受けることができますが、念のためにかかりつけの小児科医に相談しましょう。



知っておいてほしいこと

- ✓ 鼻にスプレーする生ワクチンもあります。(免疫不全の方や妊娠中の方などは接種できません。)
- ✓ 妊娠中にお母さんが接種を受けると生まれた赤ちゃんにインフルエンザ発症の予防効果があります。
- ✓ 赤ちゃんのいる家庭は、お父さん・お母さん・お兄ちゃん・お姉ちゃんが積極的に受けるようにしてください。赤ちゃんだけが受けていても、家族がかかると赤ちゃんもかかってしまうこともあります。

